



## Banco MUFG Brasil S.A.

Treasury &amp; Markets

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

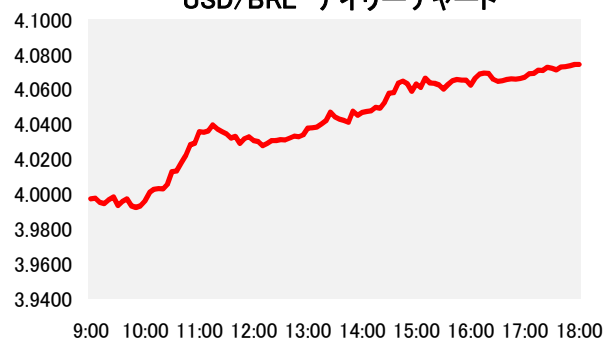
			8月13日	8月14日	8月15日	8月16日	8月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.9680	4.0520	3.9930	4.0060	4.0750	+0.0690
	BRL/JPY	Spot	26.930	26.130	26.59	26.55	26.17	-0.38
	EUR/USD	Spot	1.1171	1.1139	1.1108	1.1091	1.1079	-0.0012
	USD/JPY	Spot	106.74	105.88	106.17	106.37	106.63	+0.26
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	5.096	5.394	5.077	5.177	5.081	-0.096
	Future	1Year(p.a.)	5.316	5.368	5.342	5.289	5.354	+0.065
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.849	2.836	2.648	2.609	2.631	+0.022
	USD	1Year(p.a.)	2.545	2.538	2.399	2.361	2.402	+0.041
株式	Bovespa指数		103,299.50	100,258.00	99,056.90	99,805.80	99,468.70	-337.10
CDS	CDS Brazil 5y		134.43	140.05	141.21	139.02	138.31	-0.71
商品	CRB指数		173.087	170.645	170.035	170.405	170.777	+0.37

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.15%	0.27%	0.12%
IGP-Mインフレ第2回プレビュー	-0.48%	-0.68%	0.53%
貿易収支(週次)	--	\$701m	\$1319m

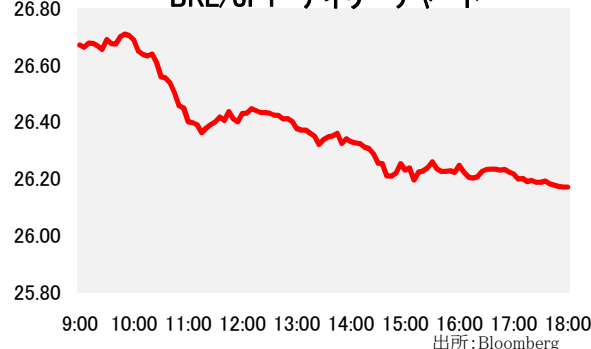
USD/BRL デイリーチャート



## 3. 要人コメント

米ローゼンブレン・ポスト ン連銀総裁	(今後の利下げについて)「景気がむしろ原則に向かっていくという証拠を目にしたい」、「大きな問題を抱えていない状況で緩和しすぎないよう注意が必要がある」
-----------------------	---

BRL/JPY デイリーチャート



## 4. トピックス

- 本日のレアルは週末のアルゼンチン情勢を受けて続落。16日、既に投機的水準にあった同国格付をS&Pなど2社が格下げを決定。フィッチはデフォルト懸念を理由にBからCCCまで3ノッチ格下げした。また翌17日には同国財務相が茲許の通貨ペソ安など経済の混乱を受けて辞任。これらの事態を受け、同国の信用不安から新興国通貨が弱含んだ(なおアルゼンチンは祝日のため休場)。レアルは3.9990で寄り付き、直後に日中高値となる3.9920を付けたものの、その後は終日下落を続け、日中安値となる4.0750でクローズした。
- 19日(月)発表のブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想について2019年が0.82%から0.83%に、2020年も2.10%から2.20%へと揃って上方修正された。インフレ率予想は2019年は3.76%から3.71%に下方修正された一方、2020年は3.90%で据え置かれた。年末の為替レートについては2019年が3.75から3.78に、2020年は3.80、3.81に下方修正された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は、著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。